

## 請求の範囲

(1) 任意の入力イベントに対するシミュレーションの結果、出力画面を参照することにより、ターゲットシステム上で動作するプログラムを自動評価する自動評価方法であって、

- 5 前記シミュレーションを行い、その結果が反映される出力画面のデータ更新が確定するタイミングの通知を得、そのタイミングに従って前記出力画面を参照し、

当該参照結果とあらかじめ作成されたりファレンスデータとを比較することによって自動評価を行うことを特徴とする自動評価方法。

- 10 (2) 前記出力画面のデータ更新が確定するタイミングは、あらかじめ定義された所定時間の経過を監視することにより決定されることを特徴とする請求項1に記載の自動評価方法。

- (3) 前記出力画面のデータ更新が確定するタイミングは、所定時間毎の各シミュレーション結果を論理和演算し、最終的に作成されるデータによって決定されることを特徴とする請求項1に記載の自動評価方法。

- 15 (4) 前記出力画面のデータ更新が確定するタイミングは、前記ターゲットシステム上で動作するプログラムから表示書き換え完了イベントによって通知されることを特徴とする請求項1に記載の自動評価方法。

- (5) 前記出力画面を参照している時に、前記シミュレーションを停止することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の自動評価方法。

(6) 任意の入力イベントに対するシミュレーションの結果、出力画面を参照することにより、ターゲットシステム上で動作するプログラムを自動評価する自動評価システムであって、

- 25 前記プログラムによる動作のシミュレーションを行うとともに、その結果が反映される出力画面のデータ更新が確定するタイミングを監視するシミュレーション装置と、

前記シミュレーション装置から出力画面のデータ更新が確定するタイミングを得、そのタイミングで前記出力画面を参照し、当該参照結果とあらかじめ

め作成されたりファレンスデータとを比較することによって自動評価する自動評価装置と、

を有することを特徴とする自動評価システム。

(7) 前記シミュレーション装置は、

5 シミュレーションを行うシミュレータ本体と、

前記シミュレータ本体と交信することにより前記出力画面のデータ更新が確定するタイミングを得るタイミング監視部と、

を有することを特徴とする請求項6に記載の自動評価システム。

(8) 前記タイミング監視部は、あらかじめ定義された所定時間の経過を  
10 監視するタイマを有することを特徴とする請求項7に記載の自動評価システム。

(9) 前記タイミング監視部は、所定時間毎の各シミュレーション結果を論理和演算し、最終的に作成されるデータによって判断する論理演算器を有することを特徴とする請求項7に記載の自動評価システム。

15 (10) 前記タイミング監視部は、前記ターゲットシステム上で動作するプログラムから表示書き換え完了イベントを受信し、当該表示書き換え完了イベントを解釈するデコーダを有することを特徴とする請求項7に記載の自動評価システム。

(11) 前記出力画面を参照している時に、前記シミュレーションを停止  
20 することを特徴とする請求項6乃至請求項10のいずれか1項に記載の自動評価システム。

(12) 任意の入力イベントに対するシミュレーションの結果、出力画面を参照することにより、ターゲットシステム上で動作するプログラムを自動評価するための自動評価プログラムを記憶した記憶媒体において、

25 前記自動評価プログラムは、

入力イベントならびに前記入力イベント毎あらかじめ作成されるリファレンスデータを読み込むステップと、

前記読み込まれた入力イベントを逐次送信し、シミュレーションの実行を促すステップと、

前記シミュレーションの結果が反映される出力画面のデータ更新が確定するタイミングの通知を得、そのタイミングに従い前記出力画面を参照するステップと、

- 当該参照結果と前記リファレンスデータを比較することによって自動評価
- 5    を行うステップと、
- を含むことを特徴とする自動評価プログラムを記憶した記憶媒体。